

加賀春



平成三十年戊戌春

甲子



宮坂 鋤柄 郁夫さん 作

館報 まつかわ

平成30年 元旦
松川町公民館報
第651号

犬

今年の干支は戌戌（つちのえいぬ）。
そこで犬にまつわるお話として
警察犬をご紹介します。



萩原順治さんとサン

警察から感謝状

松川町には、現在1頭の警察犬がいます。警察が飼っているわけではなく、住民が飼っている犬で警察から囑託を受けています。その警察犬が昨年10月の山岳遭難の捜査で遭難者を早期発見し人命を助けたことから、警察から感謝状を授与されました。

飼い主は萩原順治さん（原田）。犬はサン（SUN）という名前です。

警察の犬じゃないの？

警察犬は警察で飼っていると思われる方も多いのではないのでしょうか。しかし警察犬はほとんどが囑託で、一般住民が飼育・訓練しています。長野県警で管理されている警察犬は2頭だけなのです。そのほかの警察犬は「長野県囑託警察犬」です。毎年試験を受けて合格する必要がある、秋に試験を受けて合格すると、翌年の1月1日から1年間の任期で警察犬となります。今

年（平成30年）、飯田下伊那には、萩原さんのサンも含めて3頭の囑託警察犬がいます。



サンはシェパード

どんな犬でもなれる？

警察犬になれる犬種は日本警察犬協会が7犬種を指定しています。その犬種は、シェパード、ラブラドル・レトリバー、ゴールデン・レトリバー、ドーベルマン、ボクサー、コリー、エアデールテリアです。犬の中でも特に鼻がきく、頭がいい、厳しい訓練にも耐えられるなどの理由です。

（民間囑託では7犬種以外にも警察犬になっている犬がいます。）

萩原さんとサン

萩原さんは子どものころから犬が好きで飼っていました。いつかはシェパードを飼ってみたいと思っていたところ、仕事の付き合いの中でシェパードを紹介してもらったことから飼うことを決めました。サンが生まれた栃木県まで何度も見に行き、生後40〜50日ころから飼っています。

サンはメスで、現在5歳です。平成28年から警察犬となり、それから毎年警察犬の試験に合格しています。

萩原さんは、はじめから警察犬にしたいとシエパードを飼ったわけではなく、たまたまシェパードが警察犬に指定されていることを知り「せっかくならやってみよう」と思い立ちました。そして生後半年で神奈川県警の訓練所にサンをあずけました。サンが訓練所にいた半年間、萩原さんも週末は毎週訓練所まで通いました。

訓練を受けると、サンは訓練士の言うことしか聞きません。そこから今度は萩原さんの言うことしか聞かないようになるまで、さらに訓練を積



知らないことだらけ

警言

察

みました。

警察犬は犬の訓練も当然ながら、飼い主もしつかり指導できるようにならないといけないため、荻原さん自身も努力を重ねています。

ちなみに、警察犬に登録される犬には血統書が発行されています。サンも血統書がありますが登録名はアルテミスです。「サン」は荻原さんがつけた名前、アルテミスと呼ばれても本人（本犬？）は自分のことだとは思っていないそうです。

本当は甘えんぼ

今回の取材のため荻原さん宅に向かうと、さっそく犬の吠える声が…。警察犬ということ、おそろおそろ近づいていきました。

そして、荻原さんとサンに出会いましたが、サンは荻原さんにとっても甘え、取材陣にも寄り添ってきました。吠えるのは犬舎の中いるときだけで、一歩外に出れば全く吠えることがないよう訓練されているのです。指示は荻原さんの言うこと



警察犬飼育に興味のある方はもちろん、しつけの相談などもお受けしてくれるそうです。電話番号 36-5551

しか聞きませんが、普段は人なつっこく誰とでも遊びたい、おとなしくてやさしい犬です。

しかし訓練や捜査が始まるとすぐに目つきが変わり、自分のやるべきことを認識していると荻原さんは話します。

警察犬というと、犯人に向かっていき、かみつく場面を想像しますが、サンはそうし

た訓練は受けていません。おいで探す「足跡追及」の訓練を受けています。

捜査は飼い主も

捜査を依頼されると、犬を貸し出すのではなく飼い主も一緒に歩いて捜査します。これは、飼い主の言うことだけを聞くように訓練されているため、常に飼い主と犬はペアで行動します。山岳捜査ともなれば飼い主の体力も必要となつてきます。

荻原さんとサンが去年依頼された捜査は、12月中旬までに12件。実は去年1年間は飯田下伊那でサン1頭しか警察犬がいなかったため、とても大変でした。今年は3頭

いるとはいえないものの、それでも昔に比べれば少ないため、もっと増やしてほしいということです。

もともと捜査のための警察犬ですので、その捜査で感謝状を受け取るというのはまれなことでもあります。このほど荻原さんとサンへの感謝状授与は、初動捜査で早期発見、人命救助につながったという大きな理由があります。

「それなら警察でもつと警察犬を飼えばいいんじゃない？」

そう思うかもしれませんが、これには多くの費用（税金）が必要になります。嘱託警察犬は、あくまでも一般住民の意志によるものですが、さらに多くの力を必要としています。



人命を救った活躍の証

フルートの音色に心打たれて

えみりあオープン1周年記念

白尾彰フルートリサイタル

12月7日(木)に行われたこのリサイタルは、松川中央公民館と伊那文化会館が共催することを実現しました。

今回の目玉は何と言っても日本屈指のフルート奏者「白尾彰さん」とピアノ奏者として娘の絵里さんをお招きできたこと。また通常であればコンサートホールに出向き、チケット代5000円程かかるものが、身近な会場で、そして1000円で聞けるということ。 (高校生以下は何と無料!)

18時の開演に対し、お二人がリハーサルに入られたのは昼の12時。そこから開演ギリギリまで、リハーサルと調律が行われ、プロの凄さ・熱心さを改めて感じました。



会場はえみりあホール。当初の予定はステージ壇上からの演奏でしたが、白尾さんのご提案により「観客とより近く、より目線が同じ形」になるようにフラットな会場とな

りました。平日の18時という時間にもかかわらず、来場された町内外170名余のお客様は、素晴らしい演奏に聞き入っていました。



息の合ったお2人の演奏

みなさんの感想ひとこと

「一般」

・超一流の演奏をサロンのような雰囲気の中で聞いて贅沢でした。最後まで格調高いリサイタルでした。(女性 60代)

・心が、耳が、幸せだと言っている。(男性 10代)

・幼少より勉強された努力の結晶を聴くことで、人生の励みになります。長い時間を一筋に打ち込み、道を歩

んでこられた結果を、少しでも今後の自分の人生の糧にさせて頂けるものと、感謝と感動を胸に刻みたくと思います。(男性 70代)

翌12月8日には小学生招待の講演を行いました。そこで頂いた感想も掲載します。

「小学生」

・プロの中のプロという迫力が伝わってきて、日本を代表するというより、世界を代表する方だなと思いました。



・綺麗すぎる演奏で、寝ちゃいそうになってびっくりしました。

・フルートを吹く白尾さんの手がとてもしなやかで感動しました。

・白尾さんたちのフルートとピアノ演奏はともあつていて、この演奏を聴けてよかったです。

・ピアノソロで「鐘」という曲を弾いてくれました。鐘のゴーンという響きをピアノで表現していてすごいと思いました。

・すべての曲がピアノとフルートの重なる素晴らしい迫力のある曲でした。今日はこのようなりサイタルを聴けたことがとてもよかったですし、また次はほかの曲も聞きたいと思いました。

リサイタル終了後、余韻に浸りながらお帰りになる参加者の背中を見て、充実した時間を過ごして頂けたのだと実感しました。



松川中学校

学活では、人権学習をしました。日本には差別が江戸以前からあったそうです。そんな昔から、生まれた地域やその人の役割などで差別していたと知って、悲しくなりました。同じ人間なのに、役割が違っただけで人に避けられ、恐れられるのは悲しかったと思います。今も世界に差別があります。私はその差別が少しずつでもなくなっていくってほしいと思います。

学活で血液型による差別について学習しました。「スネ夫」の性格を考えた後に、「スネ夫」の血液型を考えました。私は○型だと思ったけれど、その後の「あるクラスでの出来事」を聞いたら、○型の人にはみんな「スネ夫」のような性格じゃないと思いました。なので、これからは、差別のよ

うなことを言っていないかを考えながら生活していきたいです。

道徳で「差別のおこり」について学習しました。差別に関して、あまり深く考えたことがありませんでした。いじめや人種差別のことは知っていました。しかし、「差別のおこり」は知りませんでした。差別は江戸時代以前からあり、現代まで続いてきたそうです。差別に関して、深く考えることのできた時間なので、覚えておきたいです。

人権の学習で「いいところ探し」をしました。自分でも気づかない姿を友達はいっぱい見つけてくれてうれしかったです。いいところを言ってくれるとうれしくなるので、いいところを大切にして、これからも友達に伝えていけるといいです。

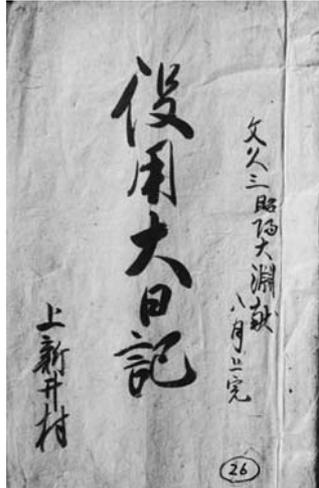
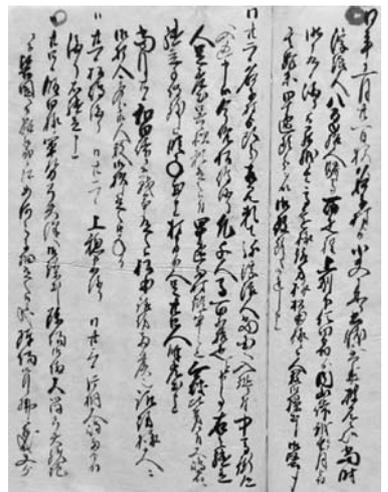


松川町今昔 資料館だより 第19回 「庄屋日記に記録されたこと(2)」

前回の庄屋日記の中の一冊、文久3年(1863)からの「役用大日記」の中にも一つ、大きな出来事が書かれています。それは、私たちが水戸浪士の通行と言っている元治1年(1864)11月の出来事です。この記録を読んでいますと「水戸浪士」という言葉は出てきません。「浮浪士」と書かれています。資料館に展示してあるいろいろな記録も同じです。水戸浪士という言葉は、後になってつけられたものかもしれません。この「役用大日記」には、浮浪士の通行に關係したことが、10ページほど記録されています。

な通行がある時は、依頼を受けて荷物を運ぶ人足の仕事に出ています。

記録では11月21日に名子村から書状を持った使いがやってきています。書状には浮浪士820人騎馬100疋が上州から信州に入ったことや、そこでの出来事が書かれています。22日には名子村の頭分がやってきて、中馬街道へ入ってきて今晚は松島宿に泊つていくが、だんだん下ってくる。大島宿へ人馬を出してほしいとの頼みでした。上新井村では早速相談して、人足24人を差し出すことにしました。片桐・大島両宿へ浪士がやってきたのは、11月23日のことでした。およそ800人がやってきて宿泊したと書かれています。



その後の通行の道筋が飯田町から遠くなるように、座光寺村北原稲雄や今村豊三郎らが、働きかけたことはよく知られていることです。

この通行は時代の大きな変化を感じることはありませんでしたが、人々にとってはたいへんなことでした。

松川町資料館 伊坪 達郎

スポーツ

第31回松川町
ダブルスバドミントン大会

12月10日に第31回松川町ダブルスバドミントン大会が開かれました。
結果は次の通りです。

〈男子〉

優勝

杉山 文康 (福与B/C)

奥平 将史 (福与B/C)

2位

酒井 賢吾 (福与B/C)

菅沼 直樹 (福与B/C)

〈女子 A〉

優勝

松尾 遥 (飯田女子)

梅本 祐菜 (飯田女子)

2位

宮下 咲乃 (福与B/C)

林 暁 (福与B/C)

〈女子 B〉

優勝

木下 千花 (飯田女子)

関島 華乃 (飯田女子)

2位

浜田 真衣 (飯田女子)

宮内 萌菜 (飯田女子)



情報

時代にマッチ、ニーズに応える公民館

第55回 松川町公民館研究集会

松川町公民館研究集会は、昭和38年に第1回目が開催され、今年度で第55回目となります。今回は“これからの公民館活動に必要なものとは何か”“住民の皆さんが公民館に求めるものとは何か”という観点から研修をします。

日時：平成30年2月25日(日) 午後1時から

場所：松川町中央公民館 えみりあ

内容：①事例発表

(地区公民館による事業事例など)

②ワールドカフェ

(小規模グループによる意見交換)

公民館関係者だけでなくどなたでもご参加いただけます。年齢性別問わず様々な方のお声を取り入れていきたいと考えています。皆様のご参加をお待ちしています。

まつかわ大学第4講座

江川 紹子氏 講演会
私の取材ノートから



新聞などでコラムを連載
テレビやラジオのコメント
ターを務めていらっしゃる
江川紹子さんが松川町にい
らっしゃる！

2月10日(土)

開場12:45 開演13:00~15:00
松川町中央公民館 えみりあホール

楽しい芸能

「春を呼ぶ調べ」
コンサート

◆日時 3月9日(金)

開場：午後1時

開演：午後1時30分

◆会場 松川町中央公民館
えみりあホール

◆出演者 浦野純子(ソプラノ)
日下部かおり(ピアノ)
田中和美(バイオリン)
飯島瀬里香(チェロ)

◆曲目 早春賦

「糸」(中島みゆき)

「春」(ヴィヴァルディ)

アヴェマリア(グノー)他

さわやかなソプラノの歌声とピアノ・バイオリン・チェロの三重奏をお楽しみください。

生田地区
芸能文化祭

◆日付 2月4日(日)

◆場所 展示…生東会館
9:00~

演芸…生東リズム室

11:30開場

12:00開演



おでん、豚汁、フランクフルト等の販売もあります！

演芸は踊りや琴、カラオケ、トリにはスクーターズが出演します。

どなたでもお気軽にお越しください！

地域を知る講座

松川町の
昔の暮らし

松川町に残されている資料を基に、当時の村々のことや人々の暮らしについて学習します。

◆日時 2月24日(土)
午後3時~5時

◆会場 松川町中央公民館
えみりあ 学習室1

◆講師 伊坪 達郎氏
(松川町資料館)

古文書資料など読んだことのない人や、初心者向けにお話をしてくれます。

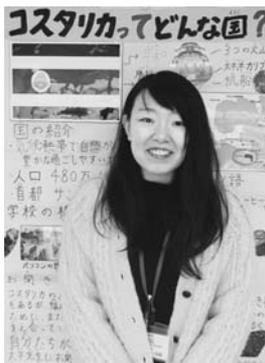
お気軽にご参加ください。



町民の方と一緒に活動したい 地域おこし協力隊 白井瑞穂さん

今回の「ひと」は地域おこし協力隊員としてホストタウン全般の業務を行っている白井瑞穂さんです。徳島出身で大学卒業後、コストリカで日本語を2年7カ月教えていました。その時コストリカの魅力にハマり、コストリカや他の国々に関われる仕事が出来たらという事で松川に来られたそうです。11月1日から地域おこし協力隊での活動が始まりました。コストリカを知ってもらい町民とコストリカ人をつなげていくために、気軽に参加できる「コストリカクラブ」もできたらと考えているそうです。

オリンピック・パラリンピックの關係に繋がる仕事を主にされておられ、東京オリンピックの時テレビやスクリーンを設置して、みんなに応援したいと思っているそうです。大会後も交流を続けていきたいと言っていたので交流が増えそうですね。



積極的な性格なので、町内を歩き、出会った人に話しかけるそうです。みなさん快く対応してくれると言っていました。今後も松川町のことをもっともっと知り、みなさんといろんな活動をしていきたいと意欲を燃やしていました。

12月10日、名子地区公民館にて、おやす作りともちつきが行われました。昔はどの家庭でも年の瀬になるとおやすを作り、玄関に飾って年末始が来るのを楽しみに待っていた方もいるのではないのでしょうか。



地域の文化を大切に 名古屋地区公民館家庭教育学習

おやすを作ったあとは、おもちつき。臼と杵を使ってもちつきをする家庭は、ほとんどないのではないのでしょうか。寒空の中、子どもたちは、元気がいっぱい重い杵を持ち上げてはふり、中には杵が重くて持ち上がらない子どもいたりしました。



何でも便利になってしまった現代ですが、今年の年末年始は、家族みんなで作ったおやすを飾り、



松川北小学校

たのしかったしゆうかくさい
1年 上條 やえ
しゆうかくさいでそばつちを
しました。
こなみずにいれてこねたあ
と、のばしました。そのきじを
たんできりました。ほつちよ
うでてるのがとてもたのしかつ
たです。
できあがったそばをみんな
たべました。とつてもおいし
かったです。
たのしかったそばつち
1年 清水 とわ
そばのしゆうかくさいがあ
りました。
ほくは、そばつちをとめて
のしみにしていました。
ひすいくんとかこさんとい
つよにこねました。ちよつと
じゅんばんをまちがえちゃつ
たけど、なかよくできました。
みんなでつくったおそばは、
とてもおいしかったです。
2ねんせいになつたら、もつ
とじょうずにつくりたいです。
がんばったそばつち
1年 米山 ゆつと
そばがおいしかったです。
あさからきんちようしていま
した。
ほつちようでてるときに、
びつくりしました。
グループは、けいがくとゆ
うたろくんといつしよでし
た。
こなをこねこねするのがた
のしかったです。のばすのが、
のしかったです。
ゆうたろくんが、ほそくき
れるようにやってくれたのが、
うれしかったです。

俳句

米山 護 (中央)



夏の雨晴間に鉾と剣岳
個展いで孟夏るるん梅雨晴間
晩夏光暑さ極まり水を飲む
秋祭り夜更箱の笛の音
秋めくやトラレペットの唳唳と



社会教育関係団体 「MMTV」

(マツカワミュージックティービー)



音楽、特に軽音楽をテーマとして松川町でどんな活動ができるのか、主にチャンネル・ルーの番組を通じて発信しています。

音楽活動を始めてみたい方々の後押しもしていきます。

声 体験活動 「手話で「コミュニケーション」

「耳が聞こえない方が薬局へ行ったときに受付の方が『こんにちは』と手話で挨拶してくれてとてもうれしかったです。」

これはある聴覚障害の方の話ですが、手話で気持ちのやり取りができたらどんなにいいかと思います。

飯田保健福祉事務所と手話普及委員会の方のご協力を得て12月16日(土)に手話の体験講座を行い、20名の参加者が温かい家庭的な雰囲気の中、楽しく手話の基礎を学ぶことができました。

手話を実際に習う前に聴覚障害がある人はどんなことに不便を感じているかを学びました。

・荷物の再配達や予約の変更などの連絡方法が電話の場合には、必要な連絡ができない。

・みんなが楽しく会話している時も、その輪の中に入れない。

・後ろから声をかけられても聞こえないため、無視された、冷たい人など誤解されやすい。
伝えるたいことをジェスチャー



会いましょう

「耳の聞こえない人とのコミュニケーションをとりたいたいと思っ

参加者の声を紹介します

「前々から興味はありましたが、今回初めて参加してよかったです。自分は当たり前に話をしたり、聞こえたりしていましたが、ろうあ者の方は本当に大変だと思いました。今後学びたい。」 (60代女性)

でも伝えられることや、空書といった、空間に文字を書いたり、口話といって相手に顔を向け、普通の会話より、口を少し大きく開けてゆっくり話したりすると伝えられることを体験しました。



ありがとう

魔法をかける？

素晴らしい一年が始まりました。さて、新年から魔法の話しをちよっと。ドラえもんのどこでもドアでしょうか。

身近に魔法がある事知っていましたが、挨拶が魔法だったという驚き、別に挨拶運動奨励者ではありませんよ。

学校や親から教わり何げなくしていました。実はこれが魔法だったとごく最近わかったんです。(大発見特許申請中)

100点満点で、ただ義理返しで10点、自分からすると50点、自分から笑顔で元気よくすると80点、それに元気とか言葉を添えると100点の魔法がかかり出します。相手も自分もウキウキです。どんな人とも仲良くなれるおまけつき。洪々やるは魔法かかりません。

長く生かされていると、色々なものが見えて来るものですね。

矢野義範

公民館報

「まつかわ」

第 651 号

平成30年1月15日

発行所 松川町公民館
責任者 小 沢 誠
編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。